事業計画書

（注）各項目の記載は簡潔なものとし、記載の重複を避けるようにしてください。

（初動・即応案件）

|  |
| --- |
| **事業計画** |
| プログラム名  | プログラム名を記載ください |
| 事業名 | 事業名を記載ください (日・英) |
| 開始日 | 年月　　日 | 終了日 | 年月日 | 日数 | 日間 |
| 団体名（提携団体名） | 団体名(法人格含む正式名称及び英語略称)を記載ください（提携団体名） | 担当 | 担当者名email |
|  |
| **予算 / 人員配置** |
| 助成申請額　　　　　　　　 | *50,000,000*円 | 100％ | 区分：政府支援金*50,000,000*円自己資金　*3,000,000*円 |
| 直接事業費 | *35,000,000*円 | （*70*％） |  | 日本国内 | 事業対象国 |
| 間接事業費 | *15,000,000*円 | （*30*％） | 都市名を記載 | 都市名を記載 |
| 自己資金（他ファンド含む） | *3,000,000*円 | *6*％ | 国際スタッフ | 1.1人役 | 2 人役 |
| 事業費総額 | *53,000,000*円 |  | 現地スタッフ |  | 16人役 |

1. **事業目的・内容**

●対象地における事業の背景・ニーズを簡潔かつ定量的に記載する。

●事業の目的を記載する。

●活動内容を簡潔に記載する（例：(a) 裨益者の選定基準と選定方法、 (b) 支援物資の調達方法（単価の積算方法も追記）、 (c) 物資の配布方法等）。

●対象地、裨益者の選定理由を記載する。

**2. 成果と指標**

　●事業終了時に目指す成果（アウトカム）を簡潔に記載する。記載はアウトカム毎に行い、各アウトカムに対する指標を設定する。なお、アウトプットは活動の直接的且つ短期的な結果であり、アウトカムはその結果として生じる変化や影響を指す。設定する指標は定量的で測定可能なものとし、アウトカムの達成度を明確に評価できるようにする。

**3. 事業管理体制（含むモニタリング）**

●本部、現地または提携団体との事業実施体制を記載する。

●事業のモニタリングの実施方法、支援対象地域へのアクセスが制限されている事業では、独立性の担保されたモニタリングの計画を記載する。

**4. 安全管理体制**

　　●安全管理体制について記載する。特に「渡航中止勧告地域」への入域を計画している場合、その頻度、手順、体制を簡潔に記載する。

**5. 同地域・国でのこれまでの経験・実績**

●ある場合、簡潔に記載。

**6. 本事業の主な分野（該当しない分野は削除）**

①救助医療、②食料配布、③物資配布、④給水